

方面	秋季演習場定期整備	(1面)
1師団	長距離射撃訓練	(3面)
12旅団	訓練検閲	(4面)
1施設団	訓練検閲	(5面)
関東補処	弾薬受領・交付訓練	(5面)



令和4年11月25日 第1054号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」
総監要望事項「克己」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙

発行所：方面総監部広報室
住所：東京都練馬区大泉学園町
専用線：8-37-2446

令和4年度方面隊秋季演習場定期整備 道場の維持・充実に寄与



コンクリートキャンバスによる溜枧硬化のための放水(北富士演習場)



溜枧の整備(北富士演習場)



立木の伐木(関山演習場)



除草後の運搬(相馬原演習場)



側溝整備(東富士演習場)



機動路整備(東富士演習場)

方面隊は令和4年度方面隊秋季演習場定期整備として、10月31日から11月6日までの間、北富士・相馬原・関山演習場において、11月10日から18日までの間、東富士演習場において活動した。

本定期整備は方面総監の要望事項である「効果的かつ効率的な整備の追求」に基づき、最大限の隊力を投入し、必要な機能維持整備を効率的に実施して、機能向上整備を一層推進させることを目的として実施した。

北富士演習場では16式機動戦闘車(MCV)小隊規模の行進射撃が可能な戦闘射撃を概成させ、さらなる機能向上を図った。また相馬原演習場では基本射撃を各個

戦闘射撃が可能な射場に整備したほか未活用地域を活用し、普通科部隊が展開し得るよう大規模な間伐を実施した。さらに関山演習場では、3カ所(MCV射場の射界の清掃(伐開)を行い、演習

弾射撃が実施可能となるよう整備に着手した。10日から始まった東富士演習場では、火砲の展開地域を新設したほか、山間隘路における普通科部隊の下車展開地積の整備、耐久性ある民生品を活用した機動路の改修等を行い、演習場の効果的な使用に資する整備を実施した。

各部隊は計画通り整備任務を完遂し、地域の安全及び訓練基盤の充実に寄与した。

Yasui! 絶品 Umai!

東方 ZEPPIIN!

カップ

JGSDF Eastern Army ZEPPIIN! Cup

東方管内 全33コ駐屯地

方面隊は駐屯地給食の質の向上及び隊員の士気高揚を目的として「東方ZEPPIIN!カップ」を開催中である。

本事業は物価高騰等により給食を取り巻く環境が厳しさを増す中でも、各駐屯地業務隊等が創意工夫をして、定額内で十分な栄養を摂取した上で「隊員に喜ばれるコストパフォーマンスの高い」「安くて美味しい」献立」の作成をテーマとして実施する。

予選は11月1日から開始しており、33コ駐屯地業務隊等が作成した献立から総監部による書類審査及び部外栄養専門機関による献立審査により、上位4コ献立を選定する。なお各駐屯地が作成した献立は、逐次、東部方面隊ホームペーシ、ツイッター、フェイスブック等で紹介していく。

本選は上位4コ献立を対象とし、東部管内全隊員による「食べたい献立」投票と総監以下5役、東部方面隊オレニオンリーダー等による食味審査により、最優秀献立1コ、優秀献立1コ、優良献立2コを決定する。隊員投票は来年2月上旬から中旬に実施し、最終結果発表は3月上旬を予定している。

なお今回、予選を通過した4コの優秀献立については、来年度の方面隊統一献立として、各駐屯地の昼食等で提供する予定である。これにより隊員が本当に食べたいものを投票してくれることを期待している。

東方ナンバー1に輝く「東方ZEPPIIN!カップ」献立をめぐる熱い戦いから目が離せない。

東部方面懇話会 横須賀地区研修

自衛隊の任務を深く理解



潜水訓練の研修(海上自衛隊横須賀基地)



防衛大学校エントランスでの記念撮影

方面隊は10月6日・7日の両日、東部方面懇話会に対し横須賀地区研修を実施した。研修は東部方面懇話会会員12人が参加し、防衛

大学校、陸上自衛隊通信学校及び海上自衛隊潜水医学実験隊(横須賀基地)を訪れた。初日は防衛大学校を訪れ、副校長との懇談・概況説明後、講堂・資料館等の施設見学及び学生との懇談を実施した。中でも学生との懇談においては、国防への熱い思いと自衛隊の将来への希望を語る学生の姿に、会員は大いに感激していた。

2日目は通信学校を訪れ、学校長との懇談及び施設等見学の後、サイ



ミサイル艦「くまたか」の研修(海上自衛隊余市防備隊)



90式戦車の体験試乗(北海道大演習場)



協固めを演練する隊員

「陸・海・空による北の守り」を体感

オピニオンリーダー等北部方面区研修

方面隊は10月25日から27日までの間、オピニオンリーダー等北部方面区研修を実施した。本研修は東方オピニオンリーダー等に対し、自衛隊の理解の深化を図り、今後の活動の資とすることを目的として実施した。研修初日は第一高射特科団(東千歳駐屯地)において対空戦闘指揮統制

システムや地对空誘導弾改良ホーク(改善III型)等の装備品を見学し、その後、海上自衛隊余市防備隊を訪れ、ミサイル艦「くまたか」を見学した。

2日目は第三施設団(南恵庭駐屯地)において94式水際地雷敷設装置の体験試乗や92式浮橋を見学した。その後、北海道大演習場において実施された第七師団戦車競技会において、迫力ある射撃を間近で見学するとともに90式戦車の体験試乗を行った。最終日は航空自衛隊特別航空輸送隊(千歳

基地)において政府専用機を見学した。研修は北部方面総監及び受け入れ側の部隊指揮官の配慮により、体験型も多く、質・量ともに充実した内容となった。参加したオピニオンリーダーは「総合火力演習以上に近いところで90式戦車の射撃を見ることができ、その迫力に驚いた」とア

3隊合同で警備能力を向上

総監部付隊・東方音総隊付隊合同格闘訓練

東部方面総監部付隊及び東部方面音楽隊は10月5日から7日までの間、朝霞駐屯地において陸上総隊司令部付隊との合同

クティブな研修内容で良い経験ができた。北の大地で任務にまい進する部隊及び隊員に感謝したい」との感想があった。

本訓練は駐屯地警備中における不審者に対する制圧・拘束要領及び危害防止のための身体搜索要領を演練し、その練度向上を図ることを目的として実施した。

訓練は当初、総監部付隊木庭一曹による警察官職務執行法第2条適用等を学習する講義から始まり、隊員の発表等により関係法令への理解を深めた。

その後、実習として小返し・協固め・腕取り

による制圧要領、さすまた等を使用した拘束要領を演練した。また壁を利用した身体拘束要領、接近する不審者に対する制圧・捜索要領等を演練した。

訓練に参加した音楽隊運用訓練幹部河田3尉は「法令教育の講義により関係規則の理解を深めるとともに、合同訓練により緊張感を持って臨むことができた。音楽隊の任務である指揮所警備に生かせるよう今後も演練を重ねていきたい」と語った。

キャリアコンサルタント養成講座

国家資格合格へ向けて全集中

方面隊は10月3日から11月2日までの間、朝霞駐屯地において令和4年度部外技能訓練「国家資格キャリアコンサルタント養成講座」を実施した。本訓練は退職予定隊員に対し、部外技能訓練を

実施してキャリアコンサルタントの知識・技能を修得させることを目的として実施した。

キャリアコンサルタントは平成28年4月に認定された国家資格で、個々の適正や職業経験に応じ

て能力開発や職業設計に関する相談・助言を行う専門家である。近年日本の企業と就労を取り巻く環境の変化によりニーズが増え、社会的な期待も高まっている。今回の教育では部外講師3人による対面教育と通信教育が行われ、参加者は資格試験合格へ向けて真剣かつ集中して教育に臨んだ。

参加した隊員は「講師による懇切丁寧かつ熱心な教育のおかげで、試験合格のために必要な知識の概要を修得することができた。困っている人に手を差し伸べられるキャリアコンサルタントを目指したい」と語った。



面接を練習する参加者

朝霞駐屯地で勇姿を披露

広報センター74式戦車体験試乗



砂ぼこりを巻き上げ疾走する74式戦車

広報センターは10月15日、16日の両日、朝霞駐屯地広報センター「りっくランド」において74式戦車体験試乗を実施した。

本イベントは機甲教導連隊(駒形駐屯地)等の支援を受け、74式戦車に乗車用ユニットを設置し、朝霞駐屯地内約500メートルのコースを2日間計50便運行し、約400人の来場者が、その乗り心地を楽しんだ。

戦車部隊が所在しない朝霞駐屯地で戦車の体験試乗ができることもあり、定員を大幅に超える多数の応募があった。当選した参加者は「戦車に乗れるなんて感動した。疾走感と走行音が予想以上です。この迫力だった」と興奮気味に話していた。

広報センターは軽易に乘館できるように、事前予約なしで乗場することができ、来館に当たっては、イベント予告、注意事項、休館日などの情報が載っているホームページを事前にご確認ください。

第1師団

5年ぶりに北海道で轟く砲声 矢臼別演習場で実射検閲



FH-70による長距離射撃



観測情報の分析・評価



射撃部隊による装填動作

第1特科隊は9月14日から28日までの間、北海道の矢臼別演習場において、射撃練度の維持・向上を目的として長距離射撃訓練を実施した。この際、併せて師団が実施する実射検閲を受閲した。

9月14日、1特は北富士駐屯地を出発し、宮城県仙台台港及び青森県八戸

感動の演奏で魅了 杉並公会堂で定期演奏会



ピアノを演奏するヒビキpianoさんと第1音楽隊のコラボ



指揮する音楽隊長



「サマータイム」で独奏する胸形1曹

第1音楽隊は9月27日、杉並公会堂大ホールにおいて「祈りと希望の復活の調べ」をテーマにした第47回定期演奏会を開催した。

第1部は「心に残る日本の歌謡3選」の道「海ゆかば」「ふるさと」の演奏に引き続き、「吹奏楽のための『海の詩・風の詩』」を演奏した。

第2部はヒビキpianoさんをゲストに迎え、「ウィンター・ゲームス」「戦場のメリークリスマス」をコラボ演奏した他、「サマータイム」で胸形1曹がトロンボーンを独奏し、来場者を魅了した。最後にヒビキpianoさんと、ヨーロッパクラ



射撃命令の起案

雨天と晴天が交錯する厳しい気象条件が続く中、ぬかるんだ軟弱な地盤に苦勞しながらも観測機関、射撃指揮機関及び射撃部隊の三者が巧みに連携して、整齊と射撃任務を遂行した。

実射検閲後は、方面特科連隊新編を見据えた大隊編成での実射訓練等を実施し、改編後の戦力化に向けての成果を得た。

実射検閲に先立ち統裁官(師団長)は、1特に対して「弾先で結果を出せ」の一点を要望し、「迅速かつ精度良好な弾を出せなければ特科部隊の意を通信が繋ぐ、この団結



射弾下掩蔽部での観測

こそが射撃の神髄である」と訓示した。

20日までに陣地偵察、測量、陣地占領、弾薬受領、火砲の整備等の射撃準備を完了し、21日の状況開始以降、射撃計画に基づき、試射や陣地変換を行いながら、射撃要求に応じて最大



指揮通信車での車上射撃

雨天と晴天が交錯する厳しい気象条件が続く中、ぬかるんだ軟弱な地盤に苦勞しながらも観測機関、射撃指揮機関及び射撃部隊の三者が巧みに連携して、整齊と射撃任務を遂行した。

実射検閲後は、方面特科連隊新編を見据えた大隊編成での実射訓練等を実施し、改編後の戦力化に向けての成果を得た。



目標機に対する射撃

第1普通科連隊は9月20日から29日までの間、六ヶ所対空射撃場において、令和4年度師団対空実射訓練(12.7mm重機関銃)を実施した。

本訓練は射撃練度を維持・向上させるとともに指導者の育成を目的として実施した。師団隷下部隊の他、方面直轄部隊及び大臣直轄部隊が参加した。

24日からの実射射撃において、各射手は主要演習項目である目標の発見・選定、

六ヶ所射場で対空実射訓練 射撃練度の向上を図る

射距離の判定及び射弾の観測・修正に着意して射撃を行い、教育訓練基準を大幅に上回る命中弾を得る等の高い成果を収めた。

本訓練期間は天候や海上の安全確保状況により平山1士は「初めての対空実射で緊張したが、訓練の成果を十分に発揮し、複数の命中弾を得られたことはとても嬉しかった。今後も練成を重ね、さらに練度を向上できるように頑張りたい」と飛躍を誓った。



朝霞訓練場での練度判定・評価



第1偵察戦闘大隊は9月26日から10月7日まで、朝霞訓練場(オートバイ訓練場)及び北富士・東富士演習場において、令和4年度オートバイ集合訓練を実施した。本訓練は師団内オート

師団内指導者ライダー集結 指導要領の認識を統一

パイ操縦指導者(重修員)に対し、オートバイ操縦訓練の指導法及びその評価要領についての認識統一を図り、各部隊の練度を向上させることを目的として実施した。

訓練は当初、操縦訓練計画を作成させ、その計画に基づき指導法・応用操縦の技能の練度判定・評価を通じて、専修員同士の認識の共有を図っていく要領で行われた。

シック音楽とジャズを融合させたシンフォニック・ジャズ「ソフティ・イン・ブルー」を披露するとともに、アンコールにおいて「I Got Rhythm」を演奏すると、感動の大きな拍手が来場者より寄せられた。

来場者からは「素敵な時間を過ごすことができ感動しました」などの声が多数聞かれた。

富士演習場東内での不整地走行

第12旅団

秋涼の関山で訓練検閲

13普連・12旅司付隊・12音楽隊が受閲



歩哨壕から敵を監視する第13普通科連隊の隊員



軽装甲機動車を盾に応戦する第13普通科連隊の隊員



指揮所周辺を警戒する第12音楽隊の隊員



対空戦闘の準備をする第12旅団司令部付隊の隊員



第13普通科連隊の指揮所の様子

旅団は10月2日から山演習場において第13普通科連隊、第12旅団司令部

部付隊及び第12音楽隊に対し、令和4年度第3次旅団訓練検閲を実施して訓練検閲を評価すること

の確行「安全管理」の4点を要望した。13普連は約40キロメートルの徒歩行進の後、3夜4日にわたる防衛準備

長として見晴らし台で敵の侵攻を阻止するという任務を与えられた。厳しい気象条件ではあったものの

ますます小隊が強くなれるよう任務にまい進し、互に協同連携して各種任務を遂行した。

受閲した各部隊は訓練成果を遺憾なく発揮し、その実力を示すとともに、良好な成果を収めた。

攻撃進展に資するヘリボン作戦能力 (諸職種協同、司令部の幕僚活動)の向上

旅団は10月10日から14日までの間、関山演習場において令和4年度旅団空中機動訓練を実施した。

司令部の幕僚活動能力の向上を図るとともに、ヘリボン作戦の一連の行動

隊が参加した。訓練の主要演習項目は①ヘリボン調整における

訓練に当たっては、司令部には攻撃進展に資する幕僚活動を実施させ、

した第12偵察隊、対抗部隊として30普連の一部と、第12高射特科隊



CH-47から展開する高機動車



降着地域を離脱するCH-47

練ができるよう体化について演習では、友軍として前日から進入

旅団は本訓練で得た成果を取りまとめ教育訓練の資とするともに、空中機動性を高めた旅団としての実力をさらに練成

優秀隊員紹介



- 第30普通科連隊(写真上) 2等陸尉 出野 和浩 1等陸曹 佐原 拓也 2等陸曹 山田 哲也 3等陸曹 金澤 雅文 陸士長 益子 洋海 千明(ちきり)政揮 第12旅団司令部付隊(写真右) 2等陸曹 後藤 巧 第12音楽隊(写真左) 1等陸曹 佐々木 真衣

いちご一会とちぎ国体を支援

銃剣道及びカヌー競技の運営に協力

第12特科隊は10月1日から11日までの間、栃木県で実施された第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体を支援した。12特は銃剣道(写真右)及びカヌー(スプリント及びスラローム、ワイルドウォーター)(写真中)競技において競技役員、救助補助などの大会運営を支援した。また開会式では航空自衛隊のブルーインパルスが展示飛行(写真左)を披露し注目を集め、大会の開催に華を添えた。



第1施設団

令和4年度団訓練検閲を実施 「すべては実任務として行動せよ」

施設団は9月30日から10月18日までの間、関山演習場、大日原演習場、東富士演習場等において

令和4年度団訓練検閲を実施した。本訓練検閲は主要検閲項目を「指揮幕僚活動」

「部隊の基本的行動・隊員の基礎動作」「施設技術等」の3点とし、計画段階及び実働段階の区分に

受閲部隊である第5施設群、第306施設隊、第101施設器材隊及び第301タンブ車両中隊

に対して武力攻撃予測事態における出動準備、武力攻撃事態及び復旧活動の一連の行動について訓練検閲を実施した。部隊に対しては指揮幕僚活動の構築、地雷原の処理、92式浮橋・軽門橋による渡河作業、重要防護施設の警備、道路構築等の任務を付与し、さまざまな状況下での行動を実施させた。

各受閲部隊は部隊長を核として団結・規律・士気を保持し、これまでの訓練してきた施設技術等を発揮するとともに、敵情・地形・気象を克服し、整備と任務遂行して本訓練検閲を完了した。

施設団はここで得たさまざまな教訓を今後の教育訓練の資とするともに、より一層強靱な部隊を目指して進んでいく。

吉井弾薬支処は10月6日から8日までの間、吉井分屯地及びその周辺地域において、東部方面隊が実施する初度携行弾薬(B/L)交付・受領訓練に参加した。各種事態対処における各部隊の即応性を維持・向上させ、弾薬受領計画の実効性向上に寄与することを目的としており、

吉井弾薬支処は指揮・幕僚活動及び弾薬交付要領を演練した。本訓練は方面隊の弾薬受領計画に基づき、方面直轄部隊への弾薬交付を主体として実施した。分屯地到着後の受付から交付に至る支処及び受領部隊との連携要領をはじめ、受領部隊が実施する積載後の弾薬保定や、法令に基づく標識等の装着要領についての助言等を行った。

本訓練の成果を蓄積し、平素の支援にも速やかに生かす等、各種事態への即応性をさらに向上させていく。



指揮所用掩蓋壕の構築(第5施設群)



障害処理(第306施設隊)



道路構築(第301タンブ車両中隊)



92式浮橋による渡河作業(第101施設器材隊)



施設団長に帰国報告をする派遣隊員

東ティモール能力構築支援 任務終了し無事帰国

施設団から派遣された隊員は、8月17日から9月30日までの間、東ティモール民主共和国メティナロ基地において実施された、東ティモール国防軍に対する能力構築支援の任務を終了し、無事に帰国した。本事業は豪軍が主催する「ハリイ・ハムトゥック22」の枠組みの中で、東ティ

モール国防軍の施設分野における能力を向上させることもに、米国、豪州、ニュージーランドとも連携を図り、多国間での信頼関係を強化することを目的としている。



コンクリート打設を指導する隊員



転圧作業を指導する隊員

【フォロワー募集】

【Twitter】

【YouTube】



分隊教練を実施する受験隊員

陸曹候補生選抜2次試験 合格目指して力を尽くす

関東処は10月4日・5日の両日、霞ヶ浦駐屯地において陸曹候補生選抜2次試験を実施した。1次試験を突破した各隊員は、面接において理想とする陸曹像等を述べつつ陸曹昇任への熱い思いを面接官につづけていた。また分隊教練においても声を張り上げながら勇ましく分隊を指揮しており、各人が真剣に合格を目指して力を尽くしていた。

ベトナム国防省が関東処研修 技術協力の進展に寄与

関東処は10月6日、霞ヶ浦駐屯地において防衛装備庁が計画したベトナム国防省関係者に対する駐屯地設備等研修を実施した。ベトナムでは現在装備品の近代化更新が進められており、その一環として関東処火器工場との連携研修が企画された。ドゥック中將らベトナム国防省関係者は、応接室で処長表敬及び懇談を行った後、火器工場において整備施設等を研修して駐屯地を後に本研修による、日本・ベトナム両国の装備技術協力が大幅に進展していくことを期待する。



積載する弾薬を確認する支処隊員



受領部隊の車両に弾薬を積載する支処隊員

吉井弾薬支処は指揮・幕僚活動及び弾薬交付要領を演練した。本訓練は方面隊の弾薬受領計画に基づき、方面直轄部隊への弾薬交付を主体として実施した。分屯地到着後の受付から交付に至る支処及び受領部隊との連携要領をはじめ、受領部隊が実施する積載後の弾薬保定や、法令に基づく標識等の装着要領についての助言等を行った。

関東補給処

各種事態への即応性向上 弾薬交付要領を演練

吉井支処

吉井弾薬支処は10月6日から8日までの間、吉井分屯地及びその周辺地域において、東部方面隊が実施する初度携行弾薬(B/L)交付・受領訓練に参加した。各種事態対処における各部隊の即応性を維持・向上させ、弾薬受領計画の実効性向上に寄与することを目的としており、

霞ヶ浦駐屯地公式ホームページ
https://www.mod.go.jp/gsd1/eae/eadep

Twitter
フォロワー募集中!!

関東補給処 霞ヶ浦駐屯地公式
Camp Kasumigaura

衛生隊

最新装備で実戦的な訓練 医療技術の練度を向上

東部方面衛生隊は10月12日から14日までの間、朝霞駐屯地において「第2次方面衛生科職種合同訓練」を実施し、方面隊に所属する衛生科隊員36人に対し、第一線救護、連隊等収容所及び師・旅団収容所における収容所治療を演練し、医療技術の向上を図った。

第一線では下肢離断

接合部出血及び胸部銃創に対する処置を、連隊等

収容所では顔面外傷で上気道が閉塞している患者に対する外科的気道確保（輪状甲状軟骨切開）を、師・旅団収容所では腹腔内損傷（肝臓損傷）患者に対するDCS（タミーゾン・トルール手術）の介助、最新の救急処置訓練（シミュレーター「トラウマFX」）の使用を、また収容所治療ブースにおいては、自衛隊中央病院の

この際、第一線救護ブースにおいては、暗闇、爆音、発煙による視界不良等のストレス環境の付与、最新の救急処置訓練シミュレーター「トラウマFX」の使用を、また収容所治療ブースにおいては、自衛隊中央病院の協力を受け、豚の臓器を利用した「ハイブリット型シミュレーター」の腹部モデルと咽頭モデルを用いる等、より実戦的な訓練環境を構築した。

隊は引き続き第3次方面衛生科職種合同訓練を計画して方面隊所属衛生

科隊員の技術練成の場とする。陸上自衛隊衛生学校が実施する衛生科技術競技会における方面代表選手を選抜し、方面隊所属衛生科隊員の技術練度の底上げ及び練度向上に寄与する。

評価・判定する。その進歩向上を促した。検閲、第102施設直接支援大隊は第5施設群、第101施設器材隊及び第301タンク中隊に対する同行支援を実施した。その際、各種装備品の故障発生に際し、迅速・確実に整備支援を実施し、同部隊の任務達成に寄与した。

本検閲において、優秀員褒賞を受賞した柏原3曹は「私は無線機整備隊員として、本訓練検閲に参加しました。検閲間、主として指揮所の有線構成を実施し、

本検閲において、2人での構成であったため、完了するまでに時間がかかってしまいました。また発電機の故障整備を実施しましたが、整備経験が少なく、故障探求に手こずりました。今回の経験を糧に、さらなる練度の向上と技術の錬磨に努めていきます」と所感を述べた。

東部方面シテム通信群は10月7日、総監部人事部募集課が実施した朝霞駐屯地見学を支援した。本支援では本部中隊及び第304中隊交換通信中隊の女性自衛官が、一

後支隊

強靱な野戦兵站部隊を目指す 102施直支大が訓練検閲



「ハイブリット型シミュレーター」を用いた輪状甲状軟骨切開を実施する医官(右上)



師・旅団収容所でDCSを演練する医官



84mm無反動砲を整備する隊員



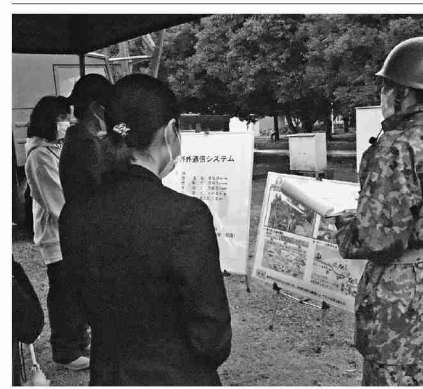
発電機を整備する隊員

東部方面後方支援隊は10月6日から13日までの間、東富士演習場において、第1施設団と連携し、第102施設直接支援大隊に対する訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は主要検閲項目を「指揮幕僚活動」及び「野外における一連の行動（隊容検査、部隊の基本的行動、隊員の基礎動作）」の2点として

本訓練検閲において優秀員褒賞を受賞した柏原3曹は「私は無線機整備隊員として、本訓練検閲に参加しました。検閲間、主として指揮所の有線構成を実施し、

本検閲において、2人での構成であったため、完了するまでに時間がかかってしまいました。また発電機の故障整備を実施しましたが、整備経験が少なく、故障探求に手こずりました。今回の経験を糧に、さらなる練度の向上と技術の錬磨に努めていきます」と所感を述べた。



通信科の概要を説明する隊員

音楽隊

小編成で軽快な演奏披露 大学学園祭を支援

東部方面音楽隊は10月16日、国士館大学町田キャンパスで開催された大学学園祭「第37回鶴川祭」において、演奏支援を行った。

当日は秋雨の合間のほつきりとした天候であったが「空も飛べるはず」「やさしさに包まれるなら」等ヴォーカルを

交えつつ、アンコール曲の「情熱大陸」まで6曲を演奏した。本演奏支援は特設ステージの事情により、サクソフォン、トランペット、ヴォーカル等を含めた7人による演奏となった。小編成の利点を生かした即応性の高いプログラムを演出することにより、普段の演奏

会では耳にすることができない軽快な演奏を披露し、会場は若々しい拍手にこぼれ、好評のうちにステージを終えた。

東部方面音楽隊の派遣演奏において、大学学園祭での演奏は稀有な体験でもあり、いずれの隊員も学生の頃を懐かしみながら演奏を行った。



大学キャンパスで演奏する音楽隊

シ通群

入隊予定者に装備品展示 朝霞駐屯地見学を支援

東部方面シテム通信群は10月7日、総監部人事部募集課が実施した朝霞駐屯地見学を支援した。本支援では本部中隊及び第304中隊交換通信中隊の女性自衛官が、一

般曹候補生及び自衛官候補生試験に合格した女性や、これから受験する女性24人に対し、通信科の概要説明、野外通信システム中継ノード及び野外電話機の器材展示を実施した。

当日は肌寒く、あいにくの雨模様だったが、参加者は野外電話機での通話体験の他、普段見ることがない通信器材に興味深く見学した。参加者からは「通信器材を開設するのには大変なこと何かな」と質問されるなど関心が高かった。

器材展示後は参加者と女性自衛官との懇談を実施し、部隊における営内生活や訓練状況について意見交換をした。

シ通群は本支援を通じて、自衛隊に対する理解を促進するとともに、安心感を醸成し、入隊率向上に寄与した。

箱根駅伝予選会の運営を支援

立川駐屯地

駐屯地は10月15日、飛行場地区において「第99回東京箱根駅伝復讐大学駅伝競走予選会」の出入門者の確認及び統制、駐屯地施設の使用等を支援した。

予選会は駐屯地内滑走路を周回し、立川市内を通過して昭和田記念公園でフィニッシュする21・0975キロメートルのコースで競われた。第97回・第98回の予選会は新型コロナウイルス感染症への対応により、駐屯地内

駐屯地は10月15日、飛行場地区において「第99回東京箱根駅伝復讐大学駅伝競走予選会」の出入門者の確認及び統制、駐屯地施設の使用等を支援した。

予選会は駐屯地内滑走路を周回し、立川市内を通過して昭和田記念公園でフィニッシュする21・0975キロメートルのコースで競われた。第97回・第98回の予選会は新型コロナウイルス感染症への対応により、駐屯地内

駐屯地は10月15日、飛行場地区において「第99回東京箱根駅伝復讐大学駅伝競走予選会」の出入門者の確認及び統制、駐屯地施設の使用等を支援した。

予選会は駐屯地内滑走路を周回し、立川市内を通過して昭和田記念公園でフィニッシュする21・0975キロメートルのコースで競われた。第97回・第98回の予選会は新型コロナウイルス感染症への対応により、駐屯地内



飛行場を一齐にスタートする選手たち

栃木国体を支援 司会進行、広報ブース出展



銃剣道会場で司会進行を行う佐々木2曹(左)



馬術会場に出展した広報ブース

ある！ある！自衛隊

byともえ



せかく
紅葉を
見に来た、
この悲しき
道を
持て
経路と
地形を
図案を
探して

自衛隊栃木地方協力本部は10月8日から10日まで、壬生高等学校体育館で行われた第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体」銃剣道競技会において司会進行を担当した。

司会進行は総務課佐々木2曹が、本番の約4カ月前から国体担当者として調整を進め、6月のリハーサル大会を経て本大会に臨み、第12特科隊の隊員と共に協力して行った。

国体での銃剣道競技会には3年ぶりの開催となり、少年男子は13チーム、成年男子は47チームの選手が競技会に参加した。

また栃木本大田原地域事務所は10月6日から10日までの間、栃木国体馬術競技会場において広報ブースを出展した。

広報ブースには競技技ランテニアとして参加していた近傍高校の生徒や、日本全国から集結した選手、スタッフ等が訪れ、戦闘機をVRで体験するコーナーでは、女子高生がゴーグルを装着した友人をスマホで撮影する場面も見られた。

またオリジナルバッジ配布コーナーでは、広報官がこのイベントに多くの自衛隊縁柄を準備し、子どもたちがその中からお気に入りを選び、子どもたちからのお礼の手紙も届きました。

またオリジナルバッジ配布コーナーでは、広報官がこのイベントに多くの自衛隊縁柄を準備し、子どもたちがその中からお気に入りを選び、子どもたちからのお礼の手紙も届きました。

またオリジナルバッジ配布コーナーでは、広報官がこのイベントに多くの自衛隊縁柄を準備し、子どもたちがその中からお気に入りを選び、子どもたちからのお礼の手紙も届きました。

長野地本 初参加で地域と密着 下諏訪産業秋まつり

自衛隊長野地方協力本部茅野地域事務所は10月8日、下諏訪町で開催された第3回下諏訪産業秋まつりに初参加した。

当日は晴天に恵まれ自衛隊ブースのほか、地域の産業体験や地元団体によるパフォーミング、地域の地場産物販売などの出店が並び、多くの家族連れで賑わった。

長野地本は小型トラックを展示するとともに、オリジナル缶バッジ配布VR体験などを行った。

中でも車両乗車体験には長蛇の列ができVR体験とともに大好評であった。

またオリジナル缶バッジ配布コーナーでは、広報官がこのイベントに多くの自衛隊縁柄を準備し、子どもたちがその中からお気に入りを選び、子どもたちからのお礼の手紙も届きました。

またオリジナル缶バッジ配布コーナーでは、広報官がこのイベントに多くの自衛隊縁柄を準備し、子どもたちがその中からお気に入りを選び、子どもたちからのお礼の手紙も届きました。

またオリジナル缶バッジ配布コーナーでは、広報官がこのイベントに多くの自衛隊縁柄を準備し、子どもたちがその中からお気に入りを選び、子どもたちからのお礼の手紙も届きました。

静岡地本 J1静岡ダービーで感謝の拍手 「ありがとう自衛隊」



ピッチ脇に整列した隊員

自衛隊静岡地方協力本部は10月22日、J1エースパルス対ジェフユナイテッド市で行われた清水エスパス対ジェフユナイテッド市戦において、第34普通科連隊の隊員がピッチ脇に整列し、試合終了後、選手たちから「ありがとう自衛隊」と感謝の拍手を受けた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、台風15号で被災された皆さま、復旧に携わるすべての皆さまへ感謝と勇気のCIAPを

という趣旨のもと観客全員が立ち上がり、ピッチ脇に整列した隊員たちに盛大な拍手を送った。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

科連隊、航空自衛隊第11飛行教育団(焼津市)とともに広報活動を行った。

静岡地本は、ピッチ脇に整列した隊員たちから「ありがとう自衛隊」と感謝の拍手を受けた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

また、試合開始前には第11飛行教育団のT-7初等練習機4機が展示飛行を行い、青空を駆け抜けるシーンが多くのサポーターの注目を集めた。

訓練所感

東部方面会計隊
第379会計隊
2等陸尉 池田 寛



新隊員教育隊区隊長

私は6月から9月までの間、東部方面会計隊新隊員教育隊区隊長として朝霞駐屯地で勤務しました。本教育隊は、修了後に各駐屯地に所在する会計隊及び富士学校会計課で勤務する新隊員17人が被教育者となります。

今回初めて教育に携わり、自衛官となってもまだ数カ月しか経過していない新隊員に対して教育を実施することの難しさを肌で感じる事ができました。また、隊員一人一人が理解できるように説明することの難しさ、教え

ることの大切さも学ぶことができました。部隊に配置された新隊員は、一人一台の機とパソコンを与えられ、会計業務を実施することになります。即戦力として部隊において力が発揮できるように会計法規等の基礎事項の教育に加え、補給管理システム及び防衛省人事・給与情報システムの実習にも力を注ぎました。

教育隊長要望事項である「大いに挑戦し、大いに失敗せよ」の言葉のもと、座学中心の教育であるものの、終始積極的の教育にまい進していきます。

今回このように区隊長として教育する機会を与えていただいたことに感謝するとともに、本教育隊での勤務を自信に変え、原隊においてさらなる戦力発揮ができるよう職務にまい進していきます。

今回このように区隊長として教育する機会を与えていただいたことに感謝するとともに、本教育隊での勤務を自信に変え、原隊においてさらなる戦力発揮ができるよう職務にまい進していきます。



車両乗車体験を待つ来場者

隊員自主募集ご協力をお願い

締切 迫る!

第3回一般曹候補生

「平和を創る仕事」を一生のやりがい

12/1(木) 受付締切

高等工科学校生徒

ここで学ぶべき3年間がある

令和5年 1/6(金) 受付締切

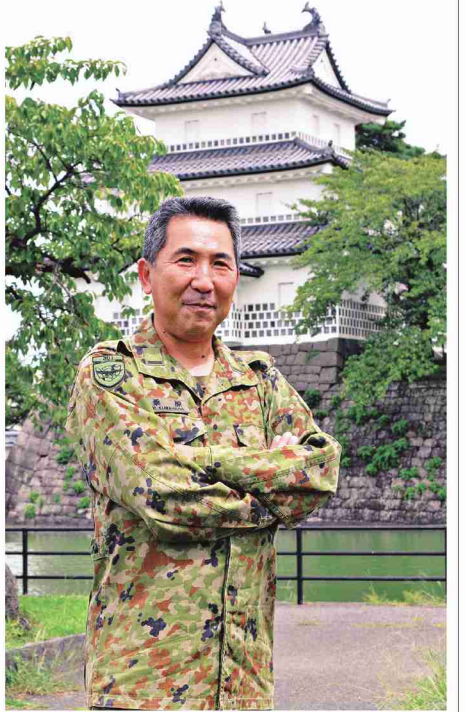
自衛官候補生も募集中

東部方面隊ホームページにて採用試験日程表を掲載

階級	募集条件	給与と記念品
第3級	①1年間で5名入隊、②2年連続4名入隊、③3年連続3名入隊、④編成で15名入隊	
第4級	①1年間で3名入隊、②2年連続2名入隊、③編成で10名入隊	
第5級	1年間で1名入隊	

最任 上級曹長

「有事と平時」 第30普通科連隊 桑原 雅樹 准陸尉



令和2年12月1日付で、第6代第30普通科連隊兼新発田駐屯地最上級曹長を拝命した桑原准尉です。

第12旅団は全国唯一の空中機動性を高めた部隊であり、わが30普通連は新

潟県北部の防衛警備、災害派遣に任ずる部隊として城下町新発田の地で持ち前の「葛城魂」を堅持し、任務に邁進しています。最任上級曹長としては連隊長

遠藤一佐を核心とし、統率方針「拙速・要望事項「精強」を具現化すべく、上意をしっかりと受け、連隊長の思いを准曹士

隊員に解りやすく指導徹底しています。今回は貴重な機会を頂きましたので、自衛官としての有事と平時につい

て書きたいと思います。われわれ自衛官は有事の際、本当の自衛官としての真価を発揮します。言い換えればその時こそ

が自衛官としての真の姿であり、その際には真っ先に守りたいであろう家族を残してでも、国家国民を守るために与えられた任務を遂行しなければなりません。

東日本大震災の際に、自衛官の夫婦の方から聞いた話ですが、第3種非常勤勤務となり、2人の子どもを自宅において出勤する際、子どもに「お父さんとお母さんは被災者を救出するために被災地に行くけど、実際私たち2人も被災者だけど・・・」と言われ、この時はこのまま夫婦2人

で自衛官を続けていても良いものなのかと悩んだそうです。自衛官は常に有事を想定した物心両面の準備が必要であります。特に家族に対しては平時の時から、子ども、両親と過ごす時間を大切に、親孝行、家族サービスをしっかりと家族から「頑張ってるね」と見送られるような、環境作りが大切だと考えています。

結びにお世話になった第30普通科連隊及び家族のために今後も日々精進してまいります。

私(志願者)の第2期生となり、相馬原駐屯地の第48普通科連隊で教育訓練を受けました。今年初めに2年間の訓練を無事訓練終了し、3月に念願の即応予備自衛官となり、第48普通科連隊第4中隊に配属されました。配属後は4中隊の上司、先輩方に厳しく、暖かい指導をいただき、日々成長を実感しながら訓練を続けております。今年度も会社の協力をいただき、多くの訓練に参加できています。今年度8回目の出頭訓練となる今回、検閲對抗部隊の一員として、早朝から2夜3日の演習に参加しました。

予備自衛官時代は地元の子都賀駐屯地に出頭し訓練を受けていました。数年後、年間5日の訓練に物足りなさを感じるようになったある日、即応予備自衛官への転換訓練があることを知り、3年前一般公募予備自衛官(令和4年10月某日夜、関山演習場にて)

「Present」 女性自衛官教育隊 菅原 ゆい 3等陸曹

に陸上自衛官がいたため自衛隊を身近に感じたり、体力にも自信があったので、それを生かせる仕事がしたいと思ったためです。

Q2・教育で大切にしていることは？
自衛官としての基本基礎を教育するので、教範に基づいた指導を欠かさず行っています。

して、学生が同じ失敗をしないようにしてあげること。自分自身が出来ること、つまり、学生に指導して恥じないように模範となるような行動をとることを心掛けています。

また学生には、どこに行ってもどんな人に対しても手を差し伸べ助けられる人になって欲しいという思いをプレゼントしました。

Q4・今後の目標は？
自分自身の軸をしっかり

りと思っています。Q3・休日の過ごし方は？
友人と買物や食事に行くことが多かったですが、最近は、もっとアクティブに人生を楽しもうと決め、以前やっていたサッカーやダイビング、トレイルランに挑戦したりしています。

と持ち、学生が今後の自衛隊生活を充実したものにできるような指導をしていきたいです。また、この人の教育を受けて良かったと学生から思ってもらえるような人になれるよう努力していきます。

令和2年4月に一般曹候補生として入隊した20歳で、今年陸曹候補生に指定されました。

Q1・入隊の動機は何ですか？
両親が自衛官であり、幼いときからその後ろ姿を見ていたこともありましたが、東日本大震災で災害派遣活動に従事する両親と自衛官の姿を見て、私も国民の命を守るために

に頑張れる仕事に就きたいと思い入隊しました。

Q2・衛生科を選んだ理由、また普段の業務は？
現場で直接人を守る仕事は何か？と考えた時、患者の治療、後送等を行う衛生科が最も合致すると思い選びました。また普段の業務は衛生器材整備工場において、主に東管内の医務室や衛生科部隊等の衛生器材を

整備しています。Q3・休日の過ごし方は？
サウナが好きでよく行っています。新型コロナウイルス感染症が流行した当初は自粛していましたが、最近は人と接しない個室のサウナもできたので、汗を流してリフレッシュしています。

Q4・今後の目標は？
第1の目標は来年1月に入隊する陸曹教育隊で全力を尽くすことです。初級陸曹としての必要な知識・技能を学ぶ大切な教育ですので、勉学等怠らず頑張ります。第2の目標は日々の業務における衛生器材整備の識能の向上です。まだまだ覚えきれないことばかりですが、「今日1日を全力で」をモットーに、いずれはどんな衛生器材の整備もできる自衛官を目指して業務に取り組んでいます。

思い返せば、小官が幹部自衛官として部隊に着任し、最初に臨んだ実指揮の場が秋季演習場整備であった。演習場整備とはいえ、隊員の掌握もままならない中、任務と責任区域が与えられ、現場での作業指揮と安全管理は、非常に重責を感じた。長い野営中、古参の陸曹から若手の陸曹・陸士隊員との関係において、数々のドラマもあった。演習場の道の名や場内の特性を叩き込まれたのも、その時だった。整備が終わるころには隊員たちの顔と名前が一致するようになり、隊員からは気さくに「小隊長！」と呼んでもらえるようになっていった。

今月のフェアレディは、女性自衛官教育隊の菅原 ゆい 3曹です。菅原3曹は東京都小平市出身、平成29年に入隊して、第1ヘリコプター団で勤務した後、現在、女性自衛官教育隊で助教として勤務しております。

Q1・入隊の動機は何ですか？
高校生の時、東日本大震災で災害派遣に従事する陸上自衛官を見て、身を挺して懸命に頑張る姿に憧れました。また親戚



今月の東方男児は、関東補給処 用賀支処 衛生器材の整備を行っている黒澤 龍人 士長です。黒澤士長は千葉県白井市の出身で、両親と3人家族が自衛官としての真の姿であり、その際には真っ先に守りたいであろう家族を残してでも、国家国民を守るために与えられた任務を遂行しなければなりません。



令和2年4月に一般曹候補生として入隊した20歳で、今年陸曹候補生に指定されました。

Q1・入隊の動機は何ですか？
両親が自衛官であり、幼いときからその後ろ姿を見ていたこともありましたが、東日本大震災で災害派遣活動に従事する両親と自衛官の姿を見て、私も国民の命を守るために

に頑張れる仕事に就きたいと思い入隊しました。

Q2・衛生科を選んだ理由、また普段の業務は？
現場で直接人を守る仕事は何か？と考えた時、患者の治療、後送等を行う衛生科が最も合致すると思い選びました。また普段の業務は衛生器材整備工場において、主に東管内の医務室や衛生科部隊等の衛生器材を

整備しています。Q3・休日の過ごし方は？
サウナが好きでよく行っています。新型コロナウイルス感染症が流行した当初は自粛していましたが、最近は人と接しない個室のサウナもできたので、汗を流してリフレッシュしています。

Q4・今後の目標は？
第1の目標は来年1月に入隊する陸曹教育隊で全力を尽くすことです。初級陸曹としての必要な知識・技能を学ぶ大切な教育ですので、勉学等怠らず頑張ります。第2の目標は日々の業務における衛生器材整備の識能の向上です。まだまだ覚えきれないことばかりですが、「今日1日を全力で」をモットーに、いずれはどんな衛生器材の整備もできる自衛官を目指して業務に取り組んでいます。

駐屯地に帰り、中隊長から一皮むけたと言われたときの喜びは、今でも鮮明に覚えている。

編集後記

厳しかった残暑が終わり、いくつもの台風と秋雨前線が去ったら、気温がぐっと下がって遠端に秋めいてきた。「大高く馬肥ゆる秋」との形容がぴったりな澄んだ青空が広がる日が増えた。「〇〇の秋」という言葉がある。どんなものに秋を感じるかは人それぞれだが、演習場整備も自衛官にとっては立派な秋の風物詩ではないだろうか。